

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 岡山県奈義町
本事業の担当部局名 こども・長寿課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	子育ての気運を高める乳幼児とのふれあい体験事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	720,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	720,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	720,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	0	0	0	720,000		720,000	
	対象経費支出予定額	0	0	0	720,000		720,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本町では平成24年に子育て応援宣言を行い、地域全体で子育てを支える妊娠・出産・子育てに温かい地域社会を推進し、合計特殊出生率は平均2.3を維持している。一方で、生涯未婚率は年々増加傾向にあり、過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、出会いの場の創出を重点的に行う必要がある。また、結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 奈義町では、子育て世帯の64%が2人以上の子どもを出産して、24%は3人以上子どもを産んでおり、希望する出生を叶えている子育て世帯が多いという評価ができる。その要因として、なぎチャイルドホームを核とした子育て拠点施設における子育て世帯のコミュニティ形成が大きな役割を果たしており、親同士のネットワークや気軽に集える場があることで、子育ての情報を体感しながら共有できることが気運を高めることにつながっている。本事業を通じて、学生、独身者や町内外を問わず若い子育て世帯にコミュニティ体験を届ける。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	乳幼児とのふれあい体験事業	<p>本町の高い出生率の要因の象徴ともいえる、なぎチャイルドホームにおいて、小中学生を対象とした乳幼児のふれあい体験を親子クラブの協力を得て実施し(年4回 小中4学年)、結婚・妊娠・出産・子育てについて考える機会を提供する。</p> <p>・協力いただく親子クラブ等への交付金 ふれあい体験、世代間交流会 各月1回 参加人数 @10名</p> <p>【補助金について】 町内に委託ができる業者がなく、また、現在町内で唯一担うことが可能となる1団体には、法人格がないことから委託での実施が困難であり、補助金としている。</p>					
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ライフスタイルの多様化により参加者数が減少している。 長期休暇中の開催や放課後児童クラブとの共同開催等、多数が参加できる方法を検討する。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		人	2.3 (R10年)	2.19 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			2.19 (R6年)	
	婚姻件数		件	27 (R5年)	
			4.7 (R6年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ワークショップ参加人数	人	260 (R8年)	260 (R7年)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	85 (R8年)	80 (R7年)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年)	80 (R7年)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					